

波板地域交流センターと第二勝丸保存所

地元の素材を使用し、ユニバーサルデザインをコンセプトにして建設された波板地域交流センターは、2016年にグッドデザイン賞を受賞しました。広々とした会議室、トイレ、シャワーとお風呂、設備の整ったキッチン、そして寝室を完備したこの施設は、イベントの会場として、またトレイルを歩く人の宿泊施設として予約することができます。この施設では、地元の職人が伝統的な雄勝スレートを使った工芸品の作り方を教えるワークショップも開催しています。スレートは地域の名産品である優美な手彫りの硯（センターで販売しています）や、屋根の瓦や食器を作るために使われます。

道を下ってすぐの海岸の近くには、第二勝丸という名前の小船が展示されている第二勝丸保存所（Boat House Namiita）があります。雄勝の数多くの建物や船と同様に、この船も2011年の東日本大震災の際の津波によって流されました。しかし、2015年、1,500日以上にわたって行方不明だった第二勝丸は、ハワイのオアフ島沖で見え、雄勝に帰ってきました。第二勝丸は現在、心温まる希望の物語であるこの船の驚くべき6,000キロメートルの旅について解説した展示の中心になっています。